



市長 芸術文化を産業にするというお話ですが、第10回津山国際総合音楽祭のプログラムの中で三枝さんが全国から観客を呼ぶことができると思うものがありますか。

三枝 どのプログラムも素晴らしいのですが、強いて挙げるなら、マラー交響曲第4番演奏会とサティヴェクサシオン演奏会*ですね。サティヴェクサシオン演奏会は東京などでも開催されていますが、とても面白い企画ですね。

*「サティヴェクサシオン演奏会」：フランスの作曲家 エリック・サティが作曲し、1分ほどの曲を840回繰り返すことで世界一長いピアノ曲として知られる「ヴェクサシオン」をリレー方式で演奏するコンサート

入館者数を増やしてチケットを安くすることが大切

市長 音楽祭の主会場として使われてきた「津山文化センター」を、改修のため今年4月から2年間休館します。建設から50年以上が経過し、老朽化が激しく、耐震補強も必要が生じたためです。建物として全国的に優れたものなので、意匠・デザインを継承しながら改修します。

世界中のホール・劇場を数多く見てこられ



地方創生の時代、地域の個性や特色を生かした取り組みが重要

市長 津山市では、市の魅力を市外の人にも知ってもらおうと、平成27年からシティプロモーション事業を行っています。津山の観光名所の中で、三枝さんの目から見て全国にも誇れるような観光名所はありますか。

また、地方創生に向けた取り組みを各自治体が行う中で、その魅力をどのように生かせば良いかアドバイスをいただけますか。

三枝 津山城（鶴山公園）の石垣は素晴らしいと思います。石垣の上でオペラやオーケストラを上演すれば面白いのではないかと思います。その練習の様子を高校生などに公開すれば、子どもにとっても良い経験になると思います。



音楽以外では光の映像ショーを開催してみたいかがでしょうか。これを1カ月間やり続け、海外にもプロモーションをかけるのです。現在の照明技術はとも進歩していて、1つのライトで2千種類以上の光を表現できます。こういったアーティストに制作を依頼するのが重要ですね。たとえ10億円かけたとしても多くの観光客が訪れる

た経験から、改修後の文化センターの在り方や地方都市におけるこれからの文化ホールの運営など、アドバイスをいただけますか。

三枝 文化ホールは音響設備なども大切ですが、いかに入館者数を増やし、公演する際のチケットを安くするかが大切だと思います。居心地の良い椅子はかえって音を吸収してしまうこともあります。

欧州などでは、板張りの椅子や寄り掛って立ち見ができる鉄の棒があるだけの観客席などもあります。そのほうが音響が良いこともあるのです。できるだけ、詰めて席数を増やしたほうが良いともいえます。

音楽を聞く時間はどんなに長くても約2時間ですから、それぐらいの時間ならば少しぐらい椅子が悪くても我慢できます。学生などの若者にとっては、立見席などでチケットができるだけ安いほうが助かりますしね。

若い音楽家を育てる

市長 今後、芸術文化のまちづくりに向け、津山の芸術文化をどのように生かしていくことが必要かアドバイスをいただけますか。

三枝 中・高校生のオーケストラやブラスバンドの演奏技術を向上させ、全国コンクールなどで毎年優勝するようなアマチュアのオーケストラを育てることが大切だと思います。そのためには、練習場所や良い指導者の確保などの支援が必要です。若い音楽家が育ち、その子たちが将来、音楽祭に帰って来てくれることで音楽祭がさらに活性化し「音楽のまち」ができる



忠臣蔵の赤穂義士の中には津山市出身者も

市長 三枝さんはオペラ「忠臣蔵」などの音楽も手掛けていますね。赤穂義士の神崎与五郎と茅野和助は津山出身です。忠臣蔵ゆかりの自治体が集い交流を深める忠臣蔵サミットに津山市も参加しています。

三枝 忠臣蔵のオペラをする際に義士に関する子孫などかなり調べました。義士のお墓が泉岳寺（東京都）にあり、討ち入りの日である12月14日に毎年、供養祭として義士祭が開催されています。そちらにも何回か参加したことがあります。

ことで、地域に10億円以上の消費が生まれるような大胆な仕掛けが必要だと思っています。

地方創生の時代、自治体の個性や特色を生かした取り組みが重要になってきます。あの素晴らしいお城の石垣を活用しなければもったいないです。

市長 津山城の石垣のすばらしさを褒めていただきありがとうございます。天守は無いですが、城郭研究の専門家からも津山城の石垣は素晴らしいと評価してもらっています。津山市の魅力の一つでもある津山城を活用した事業をこれからも考えていかなければなりませんね。

ではないでしょうか。

市長 子どもや若い音楽家を地域で育てることが大切なのですね。音楽に限らず、津山の将来を担う若者を市としても支援していきたいと思えます。

本日は、音楽界の第一線で活躍する三枝さんから、貴重なお話を聞くことができ、芸術文化のまちづくりを目指す津山市にとっても、大変参考になりました。

津山国際総合音楽祭が10回の節目を終え、今後の音楽祭の在り方についても、多くの皆さんの意見を伺いながら考えていきたいと思えます。また、津山の魅力や地域の特徴、特性をどう生かすか、今回の対談でいただいた意見やアイデアを参考に、今後のまちづくりに生かしていきたいと思えます。今後も津山市をよろしくお願ひします。

三枝成彰さん旭日小綬章おめでとうございます

平成29年秋の叙勲において、三枝成彰さんが旭日小綬章を授与されました。旭日小綬章は、日本の勲章の一つで、旭日章6つのなかで4番目に位置し、社会のさまざまな分野で顕著な功績を挙げた人に授与されるものです。三枝さんは、多年にわたり、音楽をはじめとする芸術文化への功績が評価され旭日小綬章が授与されました。